

高島・森林と住まいのネットワーク

木造住宅の耐震補強に向けた戸別説明の実施について

高島市には、琵琶湖西岸断層帯と花折断層の 2 つの活断層が存在し、近年の調査ではこれらを震源とする地震の発生により最大で震度 7 の大地震が起きると懸念されています。

特に昭和 56 年以前に建てられた木造住宅は、大地震の際に倒壊する危険性が高いことから、市ではとりわけ緊急輸送道路や避難場所に通じる避難路を有する集落のうち、木造住宅が密集している集落を最重点に、木造住宅の耐震補強を図っていく必要があると考えています。

高島市からの業務委託を受けた「高島・森林と住まいのネットワーク」の耐震化普及員が対象家庭を訪問し、木造住宅の無料耐震診断および耐震改修に関する支援制度などについて個別にご説明させていただきます。

マキノ地域（西浜区）	訪問日時	10月18日（日）～10月28日（水）
	相談会日時	10月28日（水）19時～21時
	相談会会場	西浜集会所

朽木地域（市場区）	訪問日時	11月1日（日）～11月13日（金）
	相談会日時	11月13日（金）19時～21時
	相談会会場	朽木やまびこ館研修室

安曇川地域（南船木区）	訪問日時	11月17日（火）～11月30日（月）
	相談会日時	12月6日（日）13時30分～16時
	相談会会場	安曇川世代交流センター ※木造住宅耐震化セミナーと同時開催

今迄の取組み

過年度実施した建物倒壊危険度調査を基に、特に耐震化を早急に実現する自治会を抽出し、その自治会に立地する自治会内の対象住宅の所有者及び管理者を訪問し、耐震化の状況などの聞き取り調査、木造住宅の耐震診断および耐震改修に関する支援制度など、市民の皆様を知っていただきたい情報について説明を行い、耐震診断受診を行ってきました。

特に個別訪問を通じて、市民の意識として、地震による住宅の倒壊について危機意識はあるものの、支援制度の存在を知らないこともあり、耐震診断および耐震改修に至っていないケースがあることから、木造住宅の耐震改修等に関心のある所有者に対して「木造住宅耐震相談会」を開催し技術的な面や支援制度全般について個別に支援を行いました。

事業成果

緊急輸送道路が介在し、建物倒壊危険度が高いと選定した路線・集落 19 路線・13 地域（目標 20 路線程度）、訪問件数 858 戸

耐震改修相談会 2 回

高島・森林と住まいのネットワーク

高島の森林（もり）を生かすことにより、良質な木材を持続的に生産するとともに、自然災害の防止や林業の活性化に繋がります。そのために木材供給者・設計者・作り手が知恵と技術を生かして、品質の高い、いろいろな要望に対応した、住まい手が満足できる住まいづくりを目指しています。

今までの取り組み

「森林（もり）の勉強会」







